学校番号	２０６

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ｂ	単位数	４単位	学年	３年
使用教科書	新編　詳解地理Ｂ改訂版（二宮書店）　新詳高等地図（帝国書院）						
副教材等	「フォトグラフィア地理図説」（とうほう） 「ｳｨﾆﾝｸﾞｺﾝﾊﾟｽ 地理の整理と演習」（とうほう）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「系統地理」と「地誌」を学習します。
・地理は、事実や事象を単に覚えるのではなく、データや図を多角的に分析してまとめたり、事実に基づいて、予想、検証していく学問です。丸暗記するのではなく、なぜそうなるのか、常に思考を絶やさないようにしましょう。
・授業では、課題や疑問に対して、自ら考え、ペアもしくグループで意見を交わしたり、発表したりする活動を行います。授業を受ける、のではなく、ペア、グループ、そして教員とともに創る意識を大切にしましょう。
・問題集の問題は、授業でも用いますが、自ら解いていきましょう。２度３度繰り返し行うことで学習の定着を図ります。

2　学習の到達目標

系統地理、地誌についての基礎的な知識を修得します。地図帳の効果的な活用の仕方を習得します。さらに、現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うことを目標とします。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	系統地理と地誌、及び現代世界と日本の地理的考察に関心をもつとともに、事象同士を地理的なものの見方でつなげて理解しようとする。	事象を地理的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り、多面的・多角的に分析することなどを通して、系統地理、地誌、及び現代世界と日本の地理的関係における地理的な見方や考え方を身に付けている	主題図や統計資料の読み取りや分析において、事象を多面的かつ多角的に捉えるための地球儀や地図の活用、文献の選択方法や分析方法などの資料活用の技能を身に付けている。	地理的事象を系統地理的に、地誌的に考察するために、基本的な知識や概念を理解し、身につけている。さらに、それぞれの事象を単体で捉えるのではなく、分布やまとめまり、関連性について理解し、身に付けている。
評価方法	単元テスト 問題集 ワークシート 観察等	単元テスト 問題集 ワークシート 観察等	単元テスト ワークシート 観察等	単元テスト 問題集 ワークシート 観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="5">1学期</td><td rowspan="5">現代世界の系統地理的考察</td><td>地理情報と地図</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="5">a:世界の自然環境の概要や起因、産業の変遷や分布などに関心をもち、事象の理解につとめようとしている。
b:学習内容の連続性を意識しながら思考・表現することができる。既習事象から推測、判断し、多角的に系統地誌を考察することができる。
c:資源の分布調査や都市の立地調査など目的に応じて地図帳や統計資料を活用することができる。
d:系統地理に関する基礎的事象の概要や起因についての知識を身につけている。</td><td rowspan="5">単元テスト
問題集
ワークシート
観察等</td></tr>
<tr><td>自然環境</td><td></td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>資源と産業</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>人口と村落・都市</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>生活文化と民族・宗教</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2学期</td><td rowspan="2">現代世界の地誌的考察</td><td>現代世界の地域区分</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="2">a:世界諸地域の生活環境や文化に関心をもち、それぞれの特色について意欲的に追求しようとしている。
b:世界諸地域で暮らす人々の生活や産業について、系統地理の内容などと関連付けながら、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を表現している。また、歴史的背景と関連付けて、現在の事象の原因を考察、判断している。
c:地図帳や統計資料を活用し、有用な情報を選択して、読み取ったりまとめたりしている。
d:世界諸地域の自然環境、産業、宗教や文化など、基礎的事象の概要や起因について理解している。また、諸地域の地理的特色について、歴史的背景とともに理解している。</td><td rowspan="2">単元テスト
問題集
ワークシート
観察等</td></tr>
<tr><td>現代世界の諸地域
・中国
・韓国
・東南アジア
・インド
・西アジア、中央アジア
・アフリカ
・EU
・ロシア
・アメリカ
・ブラジル
・オーストラリア</td><td></td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
</table>

3学期	現代世界の地誌的考察	現代世界と日本 ・世界の中の日本 ・持続可能な社会に向けて	○	○		○	a:日本の自然環境や抱えている課題に関心をもち、世界諸地域における日本の特色や課題について意欲的に追求することができる。 b:世界諸地域と日本の特色の違いを見いだし、系統地理や地誌の学習内容と関連付けながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:地図帳や統計資料を活用し、有用な情報を選択して、読み取ったりまとめたりしている。 d:世界諸地域と比べた日本の自然環境や災害について、高齢社会の課題について理解している。	単元テスト 問題集 ワークシート 観察等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。